

第408回番組審議会

1. 日 時 平成18年3月22日(水) 午後1時30分～

2. 開催場所 テレビ岩手 6階大会議室

3. 委員総数 14名

出席委員 8名

| | | |
|------|------|-------|
| 出席委員 | 委員長 | 藤元 隆一 |
| | 副委員長 | 橋田 純一 |
| | 委員 | 山本 玲子 |
| | 委員 | 高橋 三男 |
| | 委員 | 帷子 利明 |
| | 委員 | 佐藤 晴久 |
| | 委員 | 増川 博之 |
| | 委員 | 上野 克幸 |

| | | |
|------|----|--------|
| 欠席委員 | 委員 | 和田 利彦 |
| | 委員 | 梅村 俊男 |
| | 委員 | 千葉 則茂 |
| | 委員 | 西郷 喜代子 |
| | 委員 | 早瀬 藤二 |
| | 委員 | 嶋村 正 |

| | | |
|-------|--------|----------------------------------|
| 社側出席者 | 中野 士朗 | (代表取締役社長) |
| | 松本 斉 | (取締役副社長) |
| | 新沼 栄喜 | (専務取締役) 営業・編成担当 |
| | 石井 修平 | (専務取締役) 事業・メディア戦略・ 広報・番組審議会担当 |
| | 阿部 孝夫 | (常務取締役) 報道・制作担当 |
| | 高橋 甫和 | (取締役技術局長) 技術担当 |
| | 千葉 正範 | (営業局長) |
| | 鈴木 直志 | (報道局専任局長) |
| | 及川 昇 | (営業局専任局長) |
| | 野田 喜代志 | (制作局次長兼制作部長) |
| | 桑島 広美 | (制作局制作部主任) |

| | | | |
|-----|-------|-------------|-----------|
| 事務局 | 青山 尚之 | (編成局長) | 番組審議会事務局長 |
| | 八重樫雅弘 | (編成局編成部副部長) | |

4. 議 題

1. 日韓友好年特別番組 われら 5 きげん元気隊
2月4日(土) 11:50~12:50 放送
2. その他ご覧になった番組についてのご意見

5. 審議内容

別紙のとおり

6. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

特記事項はないが、キー局及び関係局、関連部署に議事録を配布するなど、関係者に審議の内容を伝えた。

7. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合における

その公表の内容、方法及び年月日

- ・ 自社制作番組「あなたと歩むテレビ岩手」
(平成18年3月29日(火)午前11時50分~11時57分放送)で、
審議の概要を放送。
- ・ 支社・支局に議事録を設置
- ・ 当社のインターネットのホームページで議事録を公開。

8. その他の参考資料

資料として以下のものを配布

- ・ 視聴者からのご意見

〈議事の内容〉

- 事務局 定刻になりましたので審議会を始めます。きょうの議題は2月4日放送した「日韓友好年特別番組 われら5きげん元気隊」です。それでは委員長、宜しくお願いします。
- 委員長 それでは、ご意見をお願いします。
- 委員 韓国のグルメ番組は数多いですが、この番組は真面目に作られていて、全体としては良い番組だと思います。あえて言うとスーパーの文字が小さく、字数が多く読みとりにくいと感じました。盛岡ラーメンや韓国の曲がり家などの解説があっても良いかと思います。また、韓国の商品の安さを強調していましたが、物価の違いなどがありあまり強調するのはいかがかなと思いました。
- 委員 ビデオレターのやり方を見ているとテレビの特性がでていたと感じました。ナレーションの表現がありきたりで、そのままの人の表情を出した方がテレビの特性が出ると思いました。食などの比較でも、根本的に何が違うのかを深く探って欲しかった。
- 委員 「気候・風土が似ている国々で相容れない国々」という意味の表現がありましたが、あまりに確定的すぎると感じました。世界文化遺産の水原についても岩手に参考になる部分が多いのでもっと突っ込んで欲しいと思いました。
- 委員 地域の交流に絞り込んだ所は良かったと思います。しかし、「和」というテーマにこじつけの部分もあったと思います。川井村との交流の部分は心にきました、山場が多く、もう少し簡潔にまとめたほうが良かったと思います。東南アジアなどの国々を旅すると、とても活気がある国々であると感じます。韓国もおそらくそのような国だと思います。そういった若い国の活気というものも伝えてほしかったです。
- 委員 「日韓友好年特別番組」という括りはあまりタイムリーなものではないと思います。「食」と「友好」という大きなテーマが60分という時間の中にあるのは少し無理があるのではないかと感じました。ビデオレターについてもその必然性に疑問を感じました。
- 委員 番組全体は「食」と「友好」が同じような分量で進んでいきますが、「日韓友好」の方が大切なテーマであると感じますので、より重要なほうを強調した方が良いのではないかと感じました。番組冒頭、韓国での場面の風景が日本の中であるような印象を受けました。韓国らしさを強調する中で始まったほうが良いのではないかと感じました。「うどん」の場面では、子供がなぜか変な表情をしましたが、なぜそのような表情をしたのか疑問に感じました。韓国を取り上げている番組の中で取り上げないことがいくつかあります。テレビカメラが入れないところがたくさんあるのでしょうか、日本と韓国の根本的なところに触れる機会になるのではないのでしょうか。

委員 韓国との歴史は非常に重いものがありますが、世代間によりその差もあります。日本と韓国のような問題がありますが、この番組では、子供たちを前面に出して制作していますが、「和」「友情」ということの大切さを訴えている制作者の意図を感じました。

委員 「日韓友情年」とこの番組との係わりなどの番組の真意をお聞きしたい。ナレーションについてもお聞きしたい。

社側 「日韓友好年」については一つのきっかけ、導入ととらえております。政治的な問題がありますが、この番組を通して友好を考えて貰うきっかけになればと思います。

委員 他になにかありますかでしょうか。では、事務局にお返しします。

事務局 ありがとうございます。以上で番組審議会を終了いたします。